

平成31年度第1回社会教育委員会議定例会（第30期） 会議録

|                   |   |   |                                |
|-------------------|---|---|--------------------------------|
| 会議名（審議会等の名称）      | 平成31年度第1回社会教育委員会議定例会（第30期）  |   |                                |
| 開催日時              | 平成31年4月26日（金曜日）午後3時30分～午後5時   |   |                                |
| 開催場所              | 文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室   |   |                                |
| 出席状況              | 委員  | 9人：今宮委員、大澤委員、尾辻委員、齋藤委員、長谷部委員、濱田委員、丸田委員、水口委員、三好委員  |                                |
|                   | 関係各課  | 5人：文化スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども部こども・青少年課長 |                                |
|                   | 事務局   | 2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人<br>学び交流係（259-6104） |                                |
|                   | 傍聴人数  | 0人  |                                |
| 公開・非公開の状況         | <input checked="" type="checkbox"/> 公開  | <input type="checkbox"/> 非公開                      | <input type="checkbox"/> 一部非公開 |
| 非公開・一部非公開の場合はその理由 |   |   |                                |
| 審議又は検討経過及び結果      | <p>1 会議次第</p> <p>（1）開会</p> <p>（2）報告事項</p> <p>1）平成31年度社会教育関係の主要な事業について</p> <p>（3）協議事項</p> <p>1）平成31年度社会教育関係団体への補助金について</p> <p>2）平成31年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p>3）平成31年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>4）家庭教育支援に関する事業について</p> <p>（4）その他</p> <p>（5）閉会</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p>&lt;開会&gt;</p> <p>&lt;事務局から配布資料の確認&gt;</p> <p>&lt;議長あいさつ&gt;</p> <p>&lt;関係各課紹介&gt;</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <p>「1）平成31年度社会教育関係の主要な事業」について担当課より報告（議長）担当課からの報告に対し、質問等があればお願いしたい。</p> <p>（委員）資料2ページのもの当初予算を全てまとめた表でよいか。</p> <p>（市）そのとおり。</p> <p>（委員）公民館費は学習センターの運営に係る費用の部分か。</p> <p>（市）そのとおり。</p> <p>（委員）社会教育費約14億のうち、大半が指定管理者への委託費用だと考えるが、指定管理者に色々事業をやっていただき、有効に使っているのだと思うが、指定管理者に8割近く支払っていることについてどうかという考えもある。</p> <p>&lt;協議事項&gt;</p> |   |                                |

「1)平成31年度社会教育関係団体への補助金」について、担当課より説明。

(議長)事務局からの説明に対し、質問等があればお願いしたい。

4つの団体の活動内容を全て把握することは難しいが、どの団体も構成メンバーをどうするかなど大変だと思う。青少年指導員連絡協議会の資料は、いつ、どれくらいの人数が集まったなど、非常にわかりやすい資料となっている。

(委員)青少年指導員連絡協議会は昨年度補助金が883,000円出ており、今年度17,000円増え、900,000円となっている。資料2-2の平成30年度決算書をみると、前年度の繰越金が72,670円として入り、残高は94,297円となっている。その中で、補助金を増額した理由を教えてください。

(市)各地区70,000円だった補助金を5,000円増額しており、75,000円を12地区分ということで、900,000円予算計上している。

(委員)そのような割り振りをしたということか。全体を見ると繰り越しは昨年より多くなり、さらに補助金が増えると繰越金も増えるということはないか。事業を濃密に行っていくかどうかは今年度の団体の活動によると思うが、公費であるので適正な活用をしていかなければならない。団体を伸ばしていく上では社会教育関係団体へ補助金を出すことは良いことだと考えている。ただし、最終的には自立する方向へもっていかなければならない。

そこで次の質問だが、このそれぞれの団体へ、社会教育主事としてどのように関わっていくか。補助金を出すということは、お金を出すだけでなく、指導助言の役割が社会教育法に謳われていると思うが、自立するように指導助言していかなければならない。行政としてどのようにアプローチしていくのかお聞きしたい。

(市)子ども・青少年課の職員が事務局として加わり、各事業において、協力・連携しながら事業についての相談を受けたり、改善点などについて、事業終了後に連絡を取りながら進めている。

(委員)事務局として関わる部分と、社会教育主事として指導・助言をするというのは少し異なる。市として社会教育主事などの専門的な人を派遣し、指導・助言しながら各団体の質を高めていくことに補助金を出す意義があると思う。社会教育主事は他にも業務があり忙しいとは思いますが、専門職として資格を有しているので、指導・助言できる立場で団体へ派遣いただくと、業務も進めやすくなると思う。

(委員)関連する内容で、厚木は先進的で社会教育委員が団体の活動の場に出て行って、様々な活動を見させていただいていると聞いたことがある。大和市も将来余裕があれば、そういったことも考えていかなければならない。

(委員)青少年指導員の決算書で、青少年指導員は年間で約3万円の報酬があったともうが、人件費は決算書には載らないか。

(市)市から個人への報酬であるため、協議会の決算書には表記されていない。

(委員)承知した。

(委員) 各団体に対しては、さらに発展するような視点を持って、私たちも指導していかなければならない。

(委員) P T Aは本当に一生懸命献身的にやっている。子どもたちのために一生懸命である。個々のP T Aだけでなく、市P連もやらなければならない。個々のP T Aのこともある中で、市全体のP T Aのこともやってくださっている。役員の成り手がいないという課題はあるようだ。

(委員) 働く主婦が多くなってきたこともあり、なかなか学校行事に参加できない。参加したくてもできないという人もいると聞いている。

(委員) 他に質問は無いか。無ければ今年度の社会教育団体への補助金について承認してよいか。

(委員) 異議なし。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

「2) 平成 31 年度社会教育委員会議から選出する委員」について、事務局より説明。互選により、各委員を以下のとおり決定。

生涯学習振興基金審査委員 (任期 1 年 : 平成 31 年 6 月 1 日～)

・・・大澤委員、尾辻委員、三好委員

青少年問題協議会委員 (任期 2 年 : 平成 31 年 6 月 1 日～)

・・・各団体の役職員から選出のため、次期議長を予定

子ども読書活動推進会議委員 (任期 3 年 : 平成 31 年 6 月 1 日～)

・・・今宮委員

神奈川県社会教育委員連絡協議会理事 (任期 1 年 : 平成 31 年 6 月 1 日～)

・・・丸田委員

「3) 平成 31 年度社会教育委員に関する研修会等」について、事務局より説明後、丸田委員より県社会教育委員連絡協議会理事会における説明を受けて、研修事業について補足説明。

研修会等参加者について互選により、以下のとおり決定。

① 県社会教育委員連絡協議会総会 : 本日参加委員より全員参加の意向

② 県社会教育委員連絡協議会研修会 : 三好委員・丸田委員

③ 社会教育委員連絡会議 : 丸田委員

④ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (小田原市) : 今宮委員・齋藤委員

⑤ 人権啓発研修講座 : 長谷部委員・尾辻委員

⑥ 県公民館連絡協議会第 61 回県公民館大会 : 齋藤委員

⑦ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (厚木市) : 大澤委員・尾辻委員

次期 (第 31 期) の新規委員の参加意向も確認する必要があるため、今回の参加希望は仮決定とする。

「4) 家庭教育支援に関する事業」について、図書・学び交流課の社会教育

主事より説明。

( 市 ) 講座の内容は、それぞれ1回3時間で、「案1」は子どもを健やかに育てるための大人の役割をテーマとし、体験学習をメインとするもの。「案2」は子どもの夢、実現のために何ができるかをテーマに、親子のコミュニケーションについて講座を組むものである。どちらも大学教授等の講義1時間とグループワーク1時間と振り返りを行う内容となっている。

実施方法について、「案1」を年2回開催する、「案2」を年2回開催する、「案1」のみまたは「案2」のみを実施するというのを検討いただきたい。また、開催場所について、市内小学校で行うのか、コミュニティセンターで行うのか、学習センターを会場とするか。最後は、市内の主な行事予定を確認いただいたうえで、開催日時を検討していただきたい。

( 委 員 ) 一番難しいのが開催日である。小中学校の運動会や、市内の大きな催し物などがある。

( 委 員 ) 「案1」と「案2」について対象年齢を明確にしておきたい。不明確であるためはつきりさせたい。

( 市 ) タイトルに「児童編」とあるとおり、小学生を持つ親を対象として今回は実施する。

( 委 員 ) 前は幼児を対象としていたが、今回は児童。中学生まで含めると児童・生徒となるが、今回は児童ということである。

「案1」と「案2」について、どのようにやるか。事務局としては、2回やるか、1回ずつやるのか、1回だけとするかということである。2回別の内容をやるとなると準備が大変か。

( 市 ) 資料内の主な市内行事予定にあるとおり、様々な催しや運動会などの予定からは、年に2回開催することが難しいと感じている。人を多く集めるには、2回開催する場合は別々の内容が良いと考えているが、準備はその分多く必要となる。

( 委 員 ) 産業フェアとぶつかると思うが、来る層は異なると考える。11月9日が妥当か。委員の皆さんの都合はどうか。

( 委 員 ) 異議なし。

( 委 員 ) では、11月9日土曜日の1回開催とする。  
次に場所はどこにするか。駅に近い方がよいか。

( 委 員 ) 小学校を借りた場合、その学校の人に来るが、ほかの学校の人には来ない。PTAに協力を依頼して実施する方法もありだと思える。

( 委 員 ) 林間小学校が駅に近い。小学校の校長会長は北大和小学校の校長である。北大和小学校にお願いする方法もある。ただし駅から遠い。

( 委 員 ) 社会教育委員会議の議長から、校長会に趣旨説明する必要もある。林間小は駅から近い良さがある。

( 委 員 ) 南部であれば、福田の方や、柳橋などの学校にお願いする方法がある。ただし駅からは遠い。校長会へ、どこかお願いできないかと依頼すればよい。

- ( 市 ) 当初のコミュニティセンターに出て、アウトリーチ型で、学習センターの講座をコミュニティセンターに行って実施するという考えがあったが、学校を会場とするということでよいか。
- ( 委 員 ) コミセンは無くなった。昨年実験的に実施したが、難しさがあったということが分かった。
- ( 委 員 ) ポラリスという意見もあった。
- ( 委 員 ) 学校からの脱却を図ることが必要である。いつまでも学校へ依存するという形ではなく、自立することも必要だ。となると、生涯学習センターという方法もある。当初はコミセンから地域を活性化していこうという考えもあった。
- ( 市 ) 学習センターでやるとなると、家庭教育学級の講座をやっていることもあり、先日の振り返り会では、社会教育委員会議でやる意義がどうかという話も出ていた。
- ( 委 員 ) やっていることは一緒となると、違いが見いだせない。となるとコミセンか。
- ( 委 員 ) コミセンはわかりにくいところにある印象がある。
- ( 委 員 ) コミセンのあるPTAの学区を動かす必要がある。
- ( 委 員 ) 学習センターでやる家庭教育学級はどのくらいの時期でやっているか。
- ( 市 ) 割と多く年間通して講座が行われている。
- ( 委 員 ) 今年は、PTAに協力してもらい、コミセンで実施する方向としたい。場所は人が集まりやすいところ。地域の人以外はなかなか集まらない。
- ( 委 員 ) 桜森などはどうか。その学区の人を対象とすればよい。文ヶ岡小学区の人に声をかければよい。
- ( 委 員 ) 柳橋のコミセンはどうか。引地台球場の近くである。コミセン近くに住む人を対象にしているので、柳橋小の校長に協力を依頼し、校長会などを通して参加を依頼すれば多くの人に参加が見込まれる。
- ( 委 員 ) 日程は11月9日、年に1回第1案で、草柳コミセンを会場として、PTAの協力を得て実施するというものでよいか。
- ( 委 員 ) その方向でよい。
- ( 委 員 ) PTAに依頼する場合も校長会へ話をしに行った方がよいか。
- ( 委 員 ) PTAに依頼する場合は、事前に話をして了承を得た方が良くだろう。ただし、校長先生の方から、直接PTAに話をしますということであれば、行かなくてもよいと思う。
- ( 委 員 ) では、打診は事務局から願います。内容については、案1、案2どちらかは事務局に任せる。
- ( 委 員 ) 最近の小学校の卒業式では、案2の子どもの夢を言ってもらっている。それを具体的に聞いてあげるとするのも面白いと思う。
- ( 委 員 ) 親も一緒になって考えることに意味がある。
- ( 委 員 ) では、今後は事務局に任せる。

<その他>

次回の日程について

|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>( 市 ) 次回開催については、教育長にも出席いただき、第31期の委嘱式を行う。7月1日(月)15時より、生涯学習センター601講習室で開催する。内容は、新委員の紹介、教育委員会の点検評価と家庭教育支援講座の内容を主として開催する。</p> <p>町田市との図書館相互利用について</p> <p>( 市 ) 図書館は基本的にどなたでも利用できるが、貸出しは市民に限られる。図書サービスの拡充のため、大和市の場合は平成6年から県央地区、藤沢市、横浜市と相互利用を締結しているが、近隣市で残る町田市と相互利用を開始することとなった。開始日は5月15日(水)からとなっている。大和市民が町田市で図書を借りる場合は、町田市で利用者登録をし、町田市へ返却をする。町田市民はその逆の手続きとなる。ただし予約はできないこととなっている。今後、広報へ掲載し市民へ周知する予定である。</p> <p>以上で議事を終わる。<br/> &lt;閉会&gt;</p> |
| <p>会議資料</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度社会教育関係の主要な事業</li> <li>・平成31年度社会教育関係団体への補助金</li> <li>・社会教育関係団体の30年度事業報告・決算報告(4団体)、<br/>31年度事業計画・予算(4団体)</li> <li>・平成31年度社会教育委員会議から選出する委員</li> <li>・平成31年度社会教育委員に関する研修会等</li> <li>・家庭教育支援事業企画立案書</li> </ul>  |